

アルファ技研

# 循環水の改善装置開発

## 大型空調 電気分解しコスト減 設備用

産業機器製造のアルファ技研(神戸市中央区)は、大型空調設備で使われる冷却用循環水の水質を改善する装置「エコアイオン」を開発した。従来、薬剤で水中の不純物を抑制していたが、電気分解することで維持コストを低減。独自技術で電気分解の効果も高めた。5月から販売を始めた。

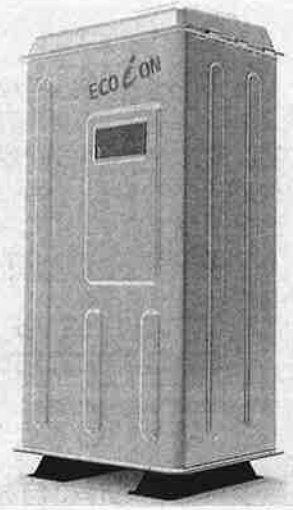
商業施設や工場など環境に配慮した装置の大型空調設備では、冷却水に含まれるカルシウムなどが水分の蒸発で濃縮され、機器に付着したり細菌類が繁殖したりする。水質の悪化や機器の腐食を招くため、薬剤を投入して汚れを防ぎ、冷却水は一定期間で廃棄していた。

その結果、電気分解で発生した水中の不純物のみを捨てるため冷却水の使用量が従来よりも減る一方、電極の長期使用も可能になりメンテナンスが3年間不要になるなどの効果を生み出した。薬剤使用製品で年間70万円ほどだったコストは、薬剤代が要らず電気代のみとなり1割ほどに抑えられるという。

価格は1時間200トの処理能力がある機種で150万円程度。計3機種で年間600台の販売を目指す。アルファ技研 ☎078・3355・5581

(黒田耕司)

同社は、取引のある都市ガス大手東邦ガス(名古屋市中)から協力依頼があり、薬剤を使用せずに電気分解の方式でコスト削減や



空調設備の冷却水の水質を改善する「エコアイオン」(アルファ技研提供)